

「15周年誌発行を祝して」

堺シルバーアドバイザー連絡協議会が、創立15周年誌を発行されますことを心からお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、本社会福祉協議会の諸事業の推進に温かいご支援ご協力をいただいておりますことに、心より厚くお礼申し上げます。

貴協議会が15周年の節目をお迎えになられましたことは、歴代の会長様をはじめ会員の皆様方のたゆまないご尽力の賜であり、深く敬意を表する次第でございます。

貴協議会では、高齢者問題が現在のように顕著になる以前から、いち早く高齢者自らが社会に役立つ方策を検討し、施設訪問を初め各種活動を展開されてまいりました。

この15年の間には、社会福祉基礎構造改革により高齢者を取り巻く環境は大きく変化し、従来の行政主導の措置制度から、高齢者自らが介護サービスを選択する介護保険制度や障害者サービスでも支援費制度が導入されるなど、社会福祉制度の大きな転換期となりました。

特に介護保険制度が実施されるに先立ち、まだ介護保険制度が混迷している中で早期に勉強会を開催され、その講師としてお招きいただきました。この勉強会では、複雑な制度と聞き慣れない言葉の中で、終始熱心にお聞きいただきましたことが今も深く印象に残っております。

その後も、熱心に勉強会を実施され、高齢者からの介護保険制度の相談や周知に取り組んでいただきましたことに深く感謝申し上げます。

会員の皆様方には、高齢者の健康づくりとしての歌体操や子どもたちのおもちゃ作りを通しての世代間交流、高齢者福祉施設の入所者へのボランティア活動等幅広く活動展開され、設立当初の高齢者自らが社会に役立つことがしたいとの思いを実現されておられます。

本社会福祉協議会におきましても、街頭での共同募金活動やボランティア活動などご協力をいただいておりますが、複雑多様化する社会環境の中で、高齢者や児童への虐待、ひきこもり、ホームレス等制度のはざまにある新たな福祉課題として検討していく必要が生じてきております。

今後も地域住民、ボランティア、福祉サービス事業者、行政等にご協力いただき協働して地域の課題解決に取り組んでまいる所存でございます。

また、4月には美原町社会福祉協議会と合併し新市社会福祉協議会として新たなスタートをし、誰もが住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、地域福祉の推進になお一層取り組んで参りますので、貴協議会の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、堺シルバーアドバイザー連絡協議会の今後ますますのご発展と関係者の皆様方のご活躍を、心からお祈りいたしましてお祝いのことばとさせていただきます。



平成17年3月10日

堺市社会福祉協議会 事務局長 陸田 義孝